

泊まれる空港とDMVで 新たな北九州空港へ飛び立とう！

解決したい課題①:アクセスの悪さ

解決したい課題②:空港利用者の少なさ

DMV
(デュアル・モード・ビークル)

×

泊まれる空港

知名度の向上

●アイデアの背景

北九州空港の強み

- ・24時間空港で夜も飛行機が飛んでいる
(現在コロナウイルスの関係で飛んでいないもののヤマト運輸の航空貨物船が北九州～東京、北九州～沖縄にて2024年4月から運行再開)
- ・羽田空港や福岡空港ほど大きい空港でなくコンパクトな空港であるため飛行機を間近で見ることができる

北九州空港の弱み

- ・上記の強みが一般の利用者に向けてうまく活用されていない→利用者が少ない
- ・高速バスでのアクセスの工夫や車で来る際の配慮はされているもののその取り組みについての認知度が低いことや近隣空港と比べるとまだアクセス面が不便であることからなかなか利用されにくい

強みを生かした斬新で新規性のあるアイデアこそが知名度向上につながる！



DMV導入による効率化

- ・車道、線路両用車でノンストップかつ乗り換えなしで小倉駅に行くことができる！
→駅にそのまま着くため新幹線利用やそこから電車で移動される方に便利！
- ・線路を使うため定時性に優れている
- ・低コストで実現可能性が高い
(必要素材は車体と車道から線路への連結部分のみ)
- ・全国で前例が1件しかないためDMV導入するだけで十分話題性に優れており、DMV利用が増える
→すなわち空港を訪れる人が増えるということ！



泊まれる空港

- ・24時間空港で夜も飛行機が飛んでいることを活かした非日常体験
- ・空港展望デッキにシェルター型テントを立てることで飛行機を感じながら宿泊することができる
→飛行機好きな方や親子連れをターゲットに
- ・斬新でどこにもないアイデアで話題性に優れている
- ・準備として用意するものはテントなど宿泊に必要なもののみであるため低コストかつ持続的にできる

●実現までのアクションプラン

